令和８年度障害者支援施設山鳩よりい地域連携推進会議　議事録

１　開催日時　令和８年９月９日（水）
　　午前１０時１５分から１２時１０分まで
２　開催場所　山鳩よりい訓練室
３　出席者　　利用者代表（１名）、利用者家族（１名）、地域の関係者（１名）、
　　施設長、事務局（事務長、生活支援課長補佐）

４　はじめに
事務局から会議にあたっての守秘義務、議事録作成について説明を行った。

５　開会

６　施設長あいさつ

７　出席者紹介
会議構成員及び事務局職員が自己紹介を行った。

８　議題
（１）施設の紹介（事業概要等）
事務局
・　令和７年度事業概要（配布資料）により、施設概要、利用者の状況、職員配置、生活支援の内容など主なものについて説明した。

【質疑・応答】
利用者家族
・　写真（配布資料）にあるお風呂はどういうものか。

事務局
・　既存のお風呂が古くなり、入替で写真にあるシャワー（ミスト）浴槽を設置した。従来の湯船に浸かるタイプとは違うが、ストレッチャーごと浴槽に入りカーテンで囲うので温かく、溺れる心配もない。
　隣の浴槽は既存のものでシャワーチェアのまま湯船に浸かれるので、座位が取れる方はこちらをご利用いただいている。

（２）日中活動について（見学）
日中活動見学（多目的ホールへ移動）

・　利用者９名、職員３名で行った生花の活動風景を見学した。会議構成員が利用者とコミュニケーションを取る場面が何度もあった。

事務局
・　会議室（訓練室）へ戻って、他の活動風景（スライド画像）を映写して説明

【質疑・応答】
地域の関係者
・　日帰り旅行でいろいろな方面へ小グループで何回も出掛けていて良いと思う。年間８回行っているので、年に一人一回は参加できるのか。

事務局
・　そのように考えている。リフト付きのバスを借り上げて実施した時期もあったが、費用が多く掛かるので大分前から施設の車で実施している。日中活動の一環で行き先をどこにすれば実施できるかなどを担当職員が調べて、利用者の希望を確認して行っている。

地域の関係者
・　一斉に一緒のところに行くイメージがあったが、たくさん選択肢があり意思を尊重して実施しているので、とても良いと思う。

利用者家族
・　運転手は頼んでいるのか。

事務局
・　運転は職員が行っている。以前は、バスを借りて運転手も外部に依頼していたが、コロナ禍からは今のやり方で行っている。

（３）地域との連携について（意見交換等）
事務局
・　お祭りや防災訓練など地域行事への利用者の参加、学生ボランティア活動の積極的な受け入れ、当施設事業への地域の方の参加などの現状と今後の取り組みについて説明した。

【意見交換等】
地域の関係者

・　区では、９年前に台風の影響で区内の河川が氾濫し被害にあった体験などを踏まえ、防災訓練を実施しており、昨年はこちらの施設から大勢の方に参加していただいた。今年も１０月に実施するので同じ地区の仲間として是非参加いただきたい。

施設長

・　ありがとうございます。当施設の避難訓練にも年に一度、地域の方にご参加いただいて車いすの誘導等お願いしている。夜間の災害を想定すると少人数の職員では対応できることが限られ、有事の際は地域の方にもご協力をお願いできればと以前からご参加いただいている。

　地域の方々に施設まで来ていただけることは大変ありがたく、それを続けられていることにとても感謝している。

地域の関係者

・　これまではこの近所で夜間すぐに駆け付けられる方がいたが、皆さん年を取られたので今では昼間でも１０人集めることが難しくなった。地区の端から端まではかなり距離はあるが、地区全体から参加いただいている。毎年地区の役員が交代する中で、役員中心で対応させてもらっていて今後もそれが続くと思う。慣れた人ではないが、交代で新しい人に施設を認知してもらう意味では良いことだと思う。

施設長

・　できれば当施設の文化祭等に地域の方を招待できるようにしていきたいと思っており、そうすることで地域の方がこちらに来やすい状況を作りたいと考えている。

地域の関係者

・　コロナ以降はそうしたことがなくなったが、以前は文化祭で作品をたくさん購入させてもらった。今もクリスマスリースを使っていて、箸置きもずっと使っている。楽しみにしていたがしばらくそういう機会がないので残念に思う。作品を購入してもらえれば作った方の喜びにも繋がり、施設を知ってもらう機会になる。また、材料費などの財源にもなると思うので機会があれば協力したい。

施設長

・　ありがとうございます。以前はふれあい広場があったので、そこでたくさん買っていただいた。今でも町の産業文化祭へは出品しているが、当施設の文化祭でも対応を考えたい。

事務局

・　昨年の会議でも小学校や保育園が近くにあり、子どもたちと利用者が触れ合う機会があればとのご意見をいただいた。今年は夏休みに小学６年生と中学２年生（各１

名）がボランティア活動で利用者とゲームなどで交流いただき、利用者が大変喜んでいた。今後も生徒さんにボランティア等で来ていただけるよう地元の小中学校の校長先生にお会いしてお願いした。その際に意見交換でこちらから学校へ職員を派遣し、障害福祉の現場のことなどを多くの生徒さんに知ってもらう機会が作れないかと相談させていただいた。職員が日頃から研修等を通じて、介護の知識・技術の習得などに励んでおり、その成果や現場の状況などを生徒さんに聞いていただき、障害福祉への関心、ボランティア活動や将来進路の選択肢などに少しでも繋がればと思う。

また、毎年地元警察署に講師派遣を依頼して防犯の研修会を開催しているので、地域の方にもご参加いただけるように設定ができればと考えている。今後も地域の方々との触れ合う機会を増やせるようにしていきたい。

施設長

・　社会福祉協議会から出前講座のようなことができれば企画してほしいとの話も来ているので、是非良い提案ができればと思っている。

地域の関係者

・ どういう形でも福祉教育のために、こちらから講師を派遣することは良いことだと思う。

（4）その他

事務局から今後の予定等について説明を行った。

9　試食

事務局

給食試食について説明を行い、利用者と同じ食事を召し上がっていただく。

献立：チキンカレー、オニオンサラダ、ヨーグルトムース、コンソメスープ

１０　閉会